［省令第８条の４の６（1,000トン以上排出事業者用）］

様式第2号の9（第8条の4の6関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8 年　6　月　30　日

（宛先）松本市長　　臥雲　義尚　様

提出者
住　所　長野県松本市井川城3-1-10
氏　名　有限会社解体総合サービス
代表取締役　竹内 昌一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0263-87-8299

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき 令和7　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社解体総合サービス
事業場の所在地	長野県松本市井川城3-1-10
事業の種類	07　職別工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,460.70t	全処理委託量	1,460.70t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	5.40t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1,455.30t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

（日本産業規格　A列４番）

別紙２

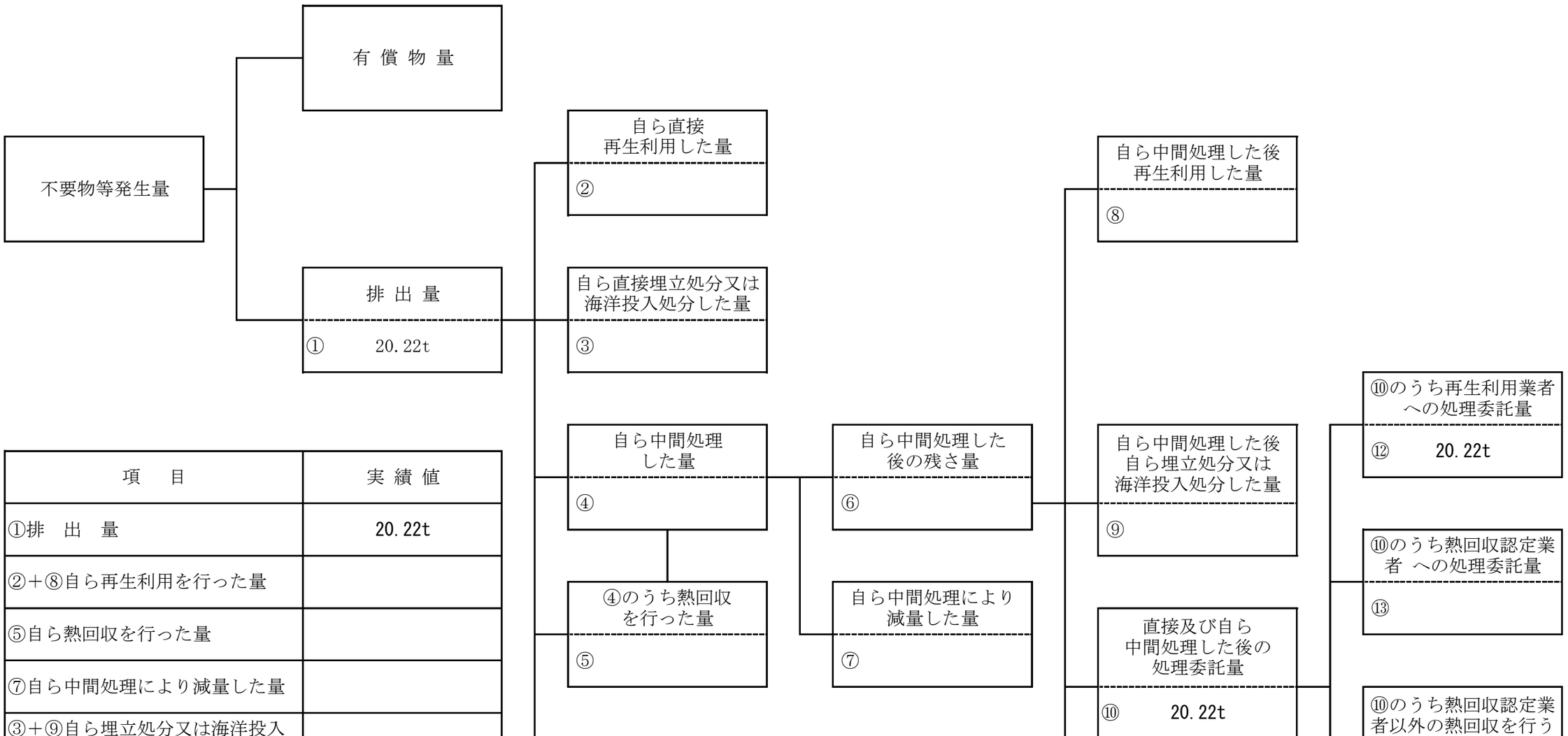
産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

		目標値	産業廃棄物の種類（実績値）												合計
			廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス･コンクリート･陶磁器くず	がれき類(コンクリがら、廃アス	木くず	廃油							
排　出　量	①	1,460.70t	20.22t	0.08t	57.70t	1,243.01t	412.09t	0.65t							1,733.75t
自ら直接再生利用した量	②														
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③														
自ら中間処理した量	④														
④のうち熱回収を行った量	⑤														
自ら中間処理したのちの残さ量	⑥														
自ら中間処理により減量した量	⑦														
自ら中間処理したのち再生利用した量	⑧														
②＋⑧自ら再生利用を行った量															
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨														
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量															
直接及び自ら中間処理したのちの処理委託量	⑩	1,460.70t	20.22t	0.08t	57.70t	1,243.01t	412.09t	0.65t							1,733.75t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	5.40t		0.06t				0.65t							0.71t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	1,455.30t	20.22t	0.02t	57.70t	1,243.01t	412.09t								1,733.04t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬														
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭														

※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第３面備考の４を参照してください。

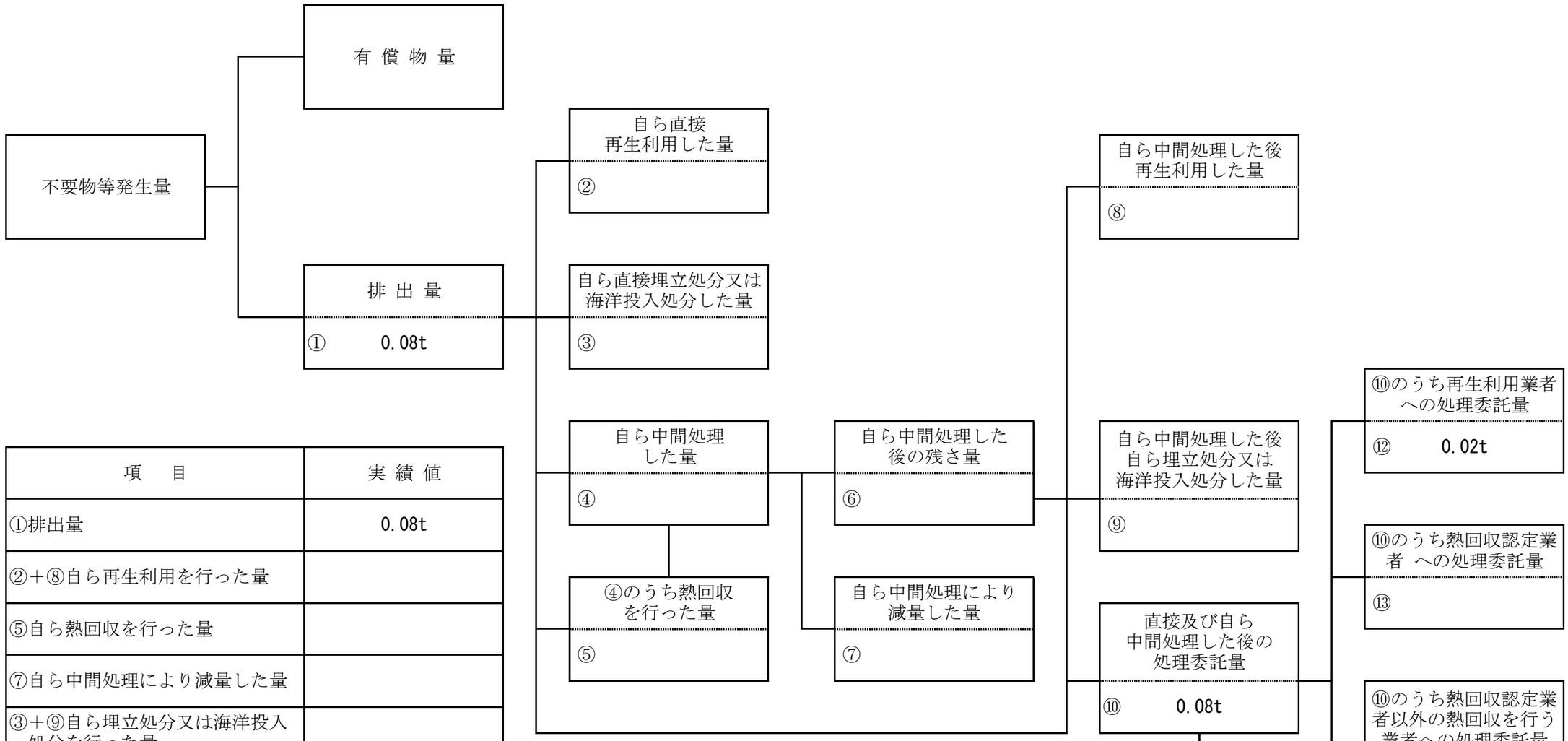
計　画　の　実　施　状　況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む）　）



項　　目	実 績 値
①排　出　量	20.22t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	20.22t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	20.22t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

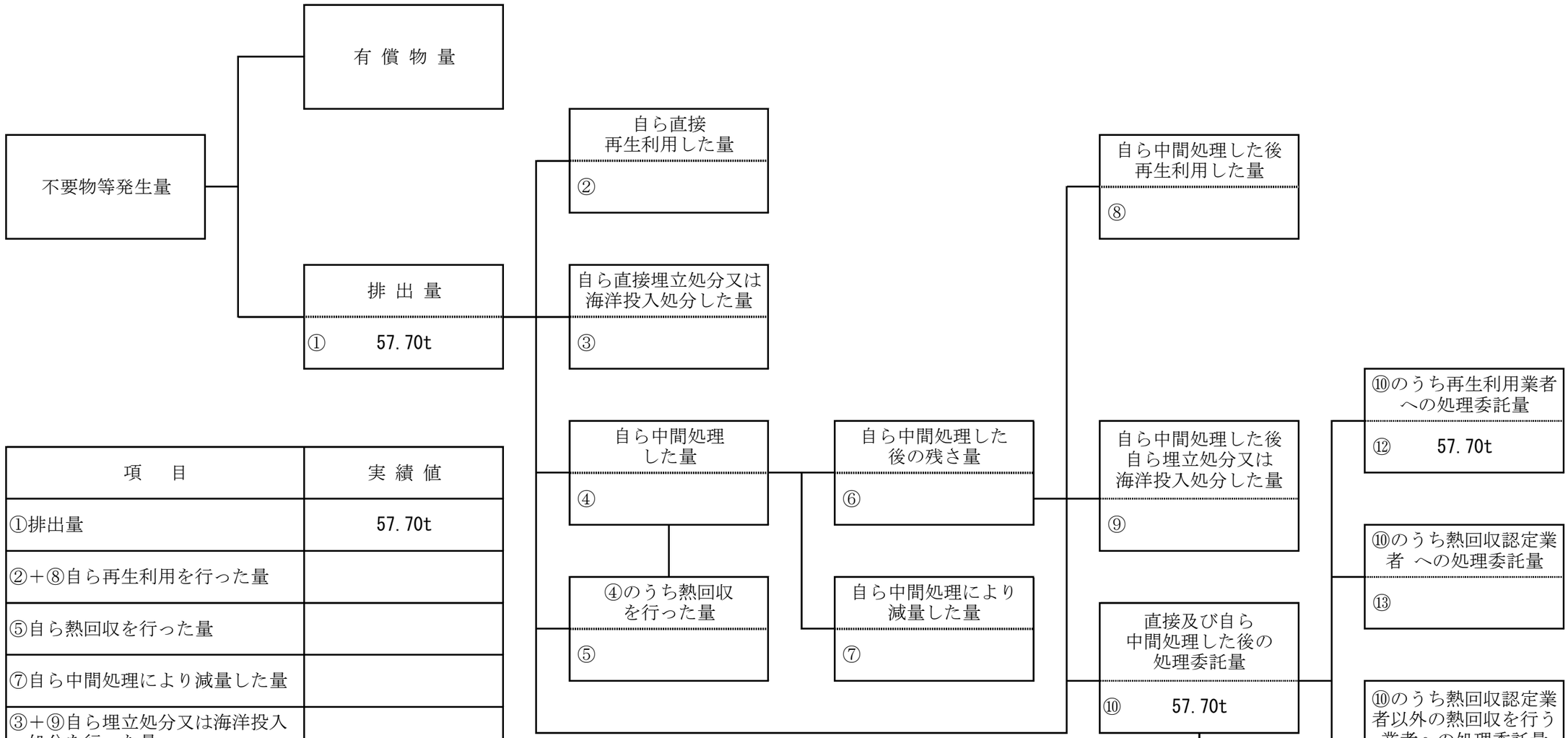
計　画　の　実　施　状　況　（産業廃棄物の種類:　金属くず　）



項　目	実 績 値
①排出量	0.08t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.08t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.06t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.02t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計　画　の　実　施　状　況

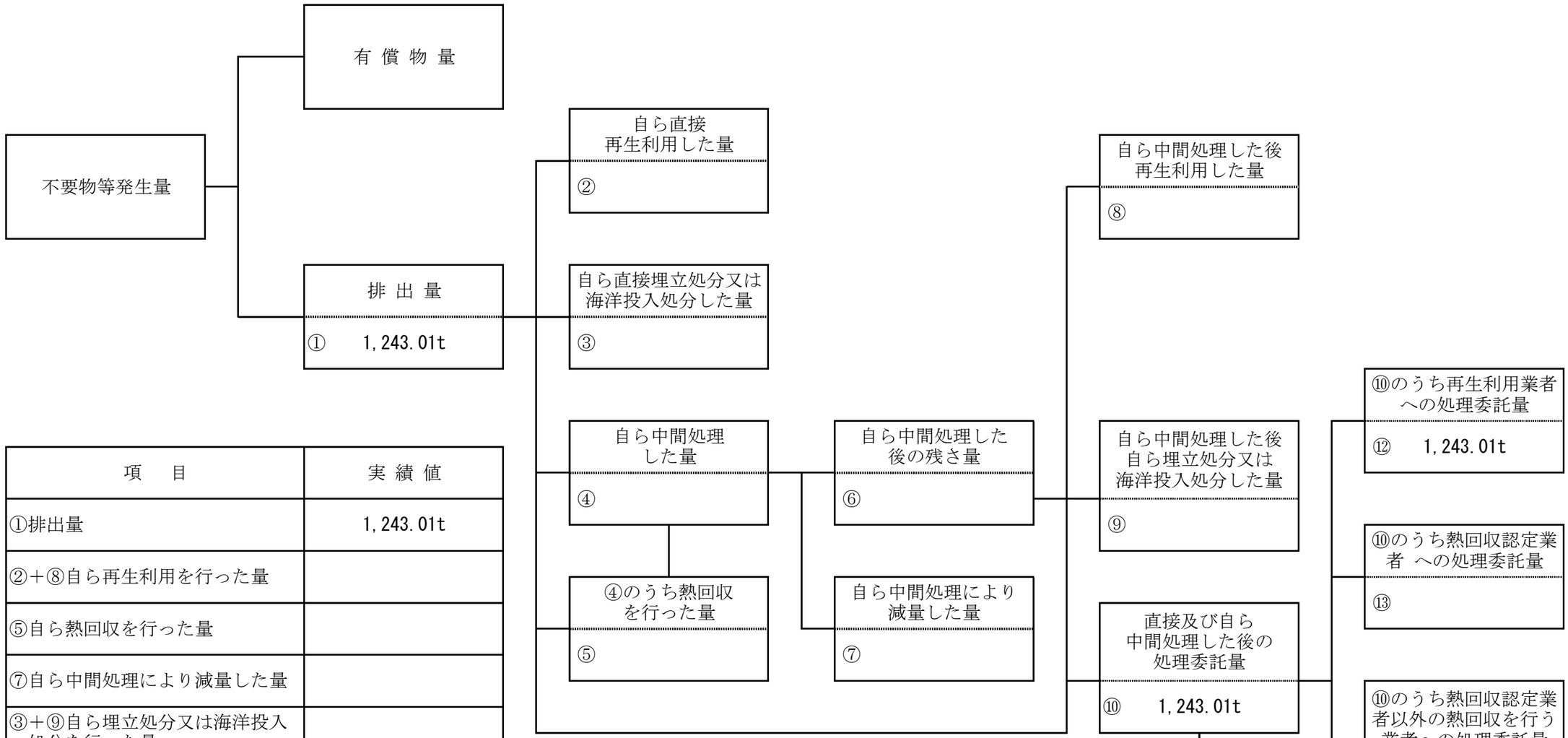
（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む) ）



項　目	実 績 値
①排出量	57.70t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	57.70t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	57.70t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

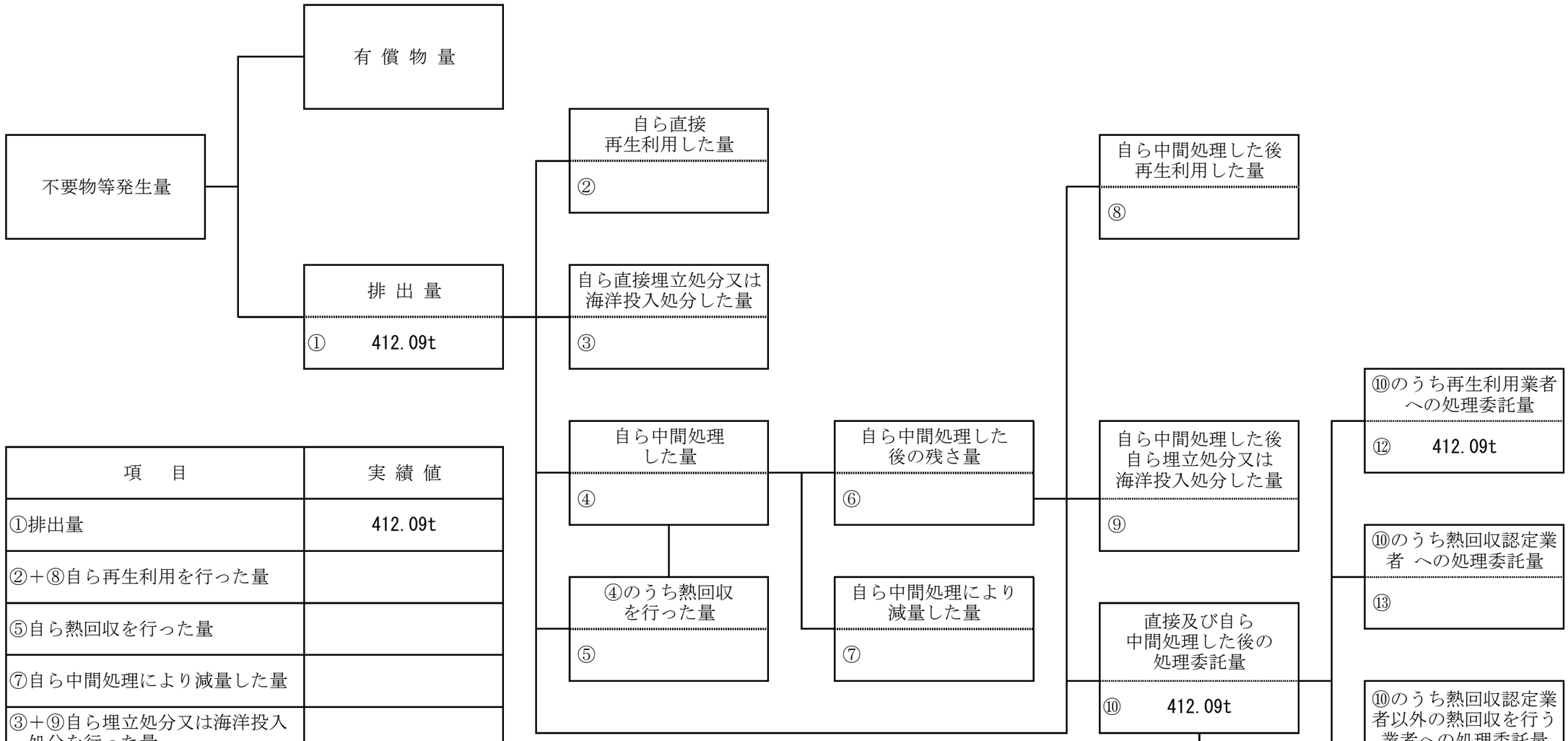
計　画　の　実　施　状　況

（産業廃棄物の種類：がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片等）　）



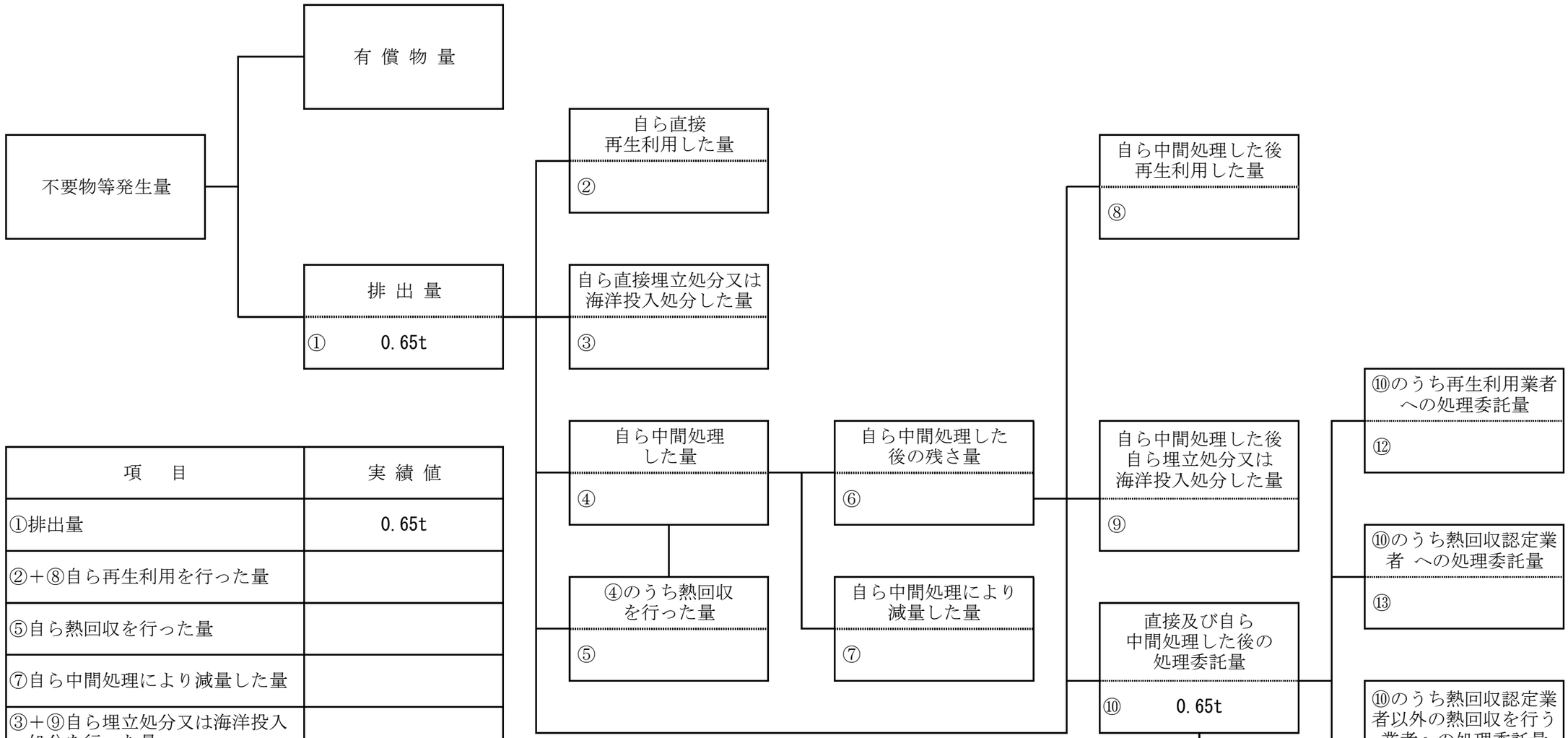
項　目	実 績 値
①排出量	1,243.01t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1,243.01t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,243.01t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計　画　の　実　施　状　況　（産業廃棄物の種類:　木くず　）



項　目	実 績 値
①排出量	412.09t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	412.09t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	412.09t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計　画　の　実　施　状　況　（産業廃棄物の種類:　廃油　）



項　　目	実 績 値
①排出量	0.65t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.65t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.65t
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備 考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が１２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。